

# 日本共産党 静岡市議会議員団

# ニュース

2014-No.1

日本共産党静岡市議会議員団  
議員控室 TEL 054-254-2111  
(内)4541  
FAX 054-272-4695  
http://www.jcps.jp/  
yksf5@jcpss.jp  
アドレス  
メール

## 2月定例 市議会

### 幅広い施設使用料に消費税増税分を転嫁 受益者負担による値上げも加わる

市長は施設方針において、市民の暮らし向きには全く言及せず、市民負担増を押し付けようとしています。26年度予算案では、老人福祉センター入浴料が有料化で1000円になるなど、消費税増税を見込んで幅広く約70施設の使用料が値上げになります。

また保育において市の公的責任が後退する新システム導入を進めるとともに、市立病院を利益第一主義・リストラを狙って独立行政法人に移行しようとしています。ともに流れは民営化です。

予算の構成比をみると、この5年間の推移を見ても、地域経済に係る商工費・農林水産費と、教育費は最低水準のままという問題もあります。

また党議員団は、市民団体から提出された請願署名に呼応して国保料引き下げの条例改正等を提案します。

市長の施設方針が21日、議会で示され予算案等も提案されました。日本共産党市議団は、市民の暮らし応援の立場で、代表質問・総括質問に5人全員が本会議・常任委員会において論戦する予定です。



## 2月定例会での本会議質問

### 代表質問 西谷博子議員

3月5日(水) 13時頃

- ・市長の施設方針について
- ・市民負担の軽減について
- ・市立病院の独立行政法人化について
- ・こども子育て支援新制度について
- ・介護保険制度について
- ・リニア中央新幹線について
- ・家庭ごみ減量化及び資源化について
- ・「防災のまちづくり」を行政の土台に
- ・地域経済振興について
- ・浜岡原発廃炉を国、中電に求めることについて
- ・教育行政について



### 内田 りゅうすけ議員

- ・使用料、手数料の値上げについて
- ・病院の独立行政法人化について
- ・生涯学習交流館について



### 鈴木せつ子議員

- ・平和行政について
- ・こども子育て支援新システムについて



### 寺尾 昭議員

- ・消防行政について
- ・教職員の働く環境について



### 山本 明久議員

- ・中小企業支援策について
- ・国保料の減免について



日時については議員団にお問い合わせ下さい。

## 2月定例会会議日程

会期 2/12~3/20(37日間) 会場 静岡庁舎本館

○本会議 (午前10時より)	3/11(火) 12(水)午前10時より
3/4(火) 代表質問	〈総務委員会〉
3/5(水) 代表質問	〈上下水道教育委員会〉
3/6(木) 総括質疑	〈生活文化環境委員会〉
3/7(金) 総括質疑	3/13(木) 14(金)午前10時より
	〈厚生委員会〉
	〈経済消防委員会〉
○3/20(木)本会議 (最終) (午後1時30分より)	〈都市建設委員会〉

## 予算組み替えと条例改正を提案 国民健康保険

前年度の決算では26億円の赤字が生じ、積立金(国保基金)は41億円に達しました。今年度の決算見込みも20億円程度の赤字が出るという国保運営協議会で当局は明らかにしています。国保料引下げの余地は十分ありません。来年度予算は、市民の切実な声が無視され、据え置きとなつています。党議員団は一人1万円引下げの予算組み替えと、それに伴う国保条例改正案を議会に提案しました。

## 高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成実現を

お年寄りの肺炎の罹患率が高いことから、肺炎球菌ワクチンへの公費助成は切実な要求ですが、静岡市は未実施です。この度、厚生労働省が、来年度秋から予防接種法に位置付け、定期接種による助成方針を決めた事を受け、医療と福祉をよくする会など、市民団体が保健予防課に実施を求め、懇談しました。

市は、「国が方針をだせば、市も援助する。対象は65歳から5年置きの接種方法や自己負担額について、検討中であり、新年度の6月補正予算で提案したい」と応じました。切実な市民の声が実現しました。

